

○文献リスト補遺<1976~1988>

(前号19頁につづく)

西山邦夫, 1988. 新潟県長岡市の柿川の植物. 長岡市立科学博物館研究報告 (23) : 15-39.

藤井靖浩・柴田千晶・小宮定志・桜井謙一, 1987. 羽生市宝蔵寺沼の水生動物とそれらのムジナモに対する影響. 日本歯科大学紀要 (16) : 243-259.

村越 勇・副田行夫・松本 誠・樋口義洋・池上文雄・斉藤和季, 1988. 水生植物オオフサモによる水質浄化に関する研究 第1報 オオフサモによる栄養塩類等の除去. 千葉大学環境科学研究報告 13 : 35-38.

———・松本 誠・副田行夫・斉藤和季・立本英機, 1988. 同 第2報 印旛沼および手賀沼におけるオオフサモの成長. 同 13 : 39-42.

森 俊, 1987. 阿武隈山地北部での採集ノート II. 東北植物研究 4 : 15-16. [サジオモダカ、ヒメバイカモの記録含む]

ヨシ群落を守る会, 1988. 水生植物群落の浄化力 一琵琶湖開発による汚染の一因を考える一. 技術と人間 17 (2) : 104-112.

渡辺幸雄・矢島 聡・嶋田典司, 1988. オオサンショウモによる水質浄化に関する研究 (2) オオサンショウモの栽培試験における窒素及びリンの吸収. 千葉大学園芸学部学術報告 (41) : 23-27.

Aoyama, I., H. Nishizaki & M. Yagi, 1986. Uptake of nitrogen and phosphate, and water purification capacity by water hyacinth (*Eichhornia crassipes* (Mart.) Solms). Ber. Ohara Inst. landw. Biol. Okayama Univ. 19 : 77-89.

Furusawa, K., 1987. The lotus seed, *Nelumbo nucifera* Gaertn. as a new host plant of the Adzuki bean weevil, *Callosobruchus chinensis* L. (Coleoptera : Bruchidae.). Appl. Ent. Zool. 22 : 388-389.

Tanimoto, T. & T. Morikawa, 1988. A karyotype analysis of *Sagittaria* species in Japan. La Kromosoma II-50 : 1620-1627.

Umebayashi, O., 1988. Individual leaf growth of vegetative shoot of eelgrass *Zostera*

marina. Bull. Tokai Reg. Fish. Res. Lab. (125) : 1-13.

○文献リスト<1989-(4)>

薄葉 満. 阿武隈山地でフトヒルムシロを発見.

フロラ福島 (7) : 16.

———. ヒメオヒルムシロ福島県にも出現.

フロラ福島 (7) : 20.

後藤 武・入江敏勝. 植物における重金属の動態 (I) 水生植物による重金属の取込み. 陸水雑 50 : 321-331.

田中万夫. オオオニバス属 (*Victoria*) の生育および交配記録 (第2報) 広島市植物公園栽培記録 (10) : 14-15.

<1990-(1)>

上野実朗. 大賀ハスの謎 : 4集粒花粉の秘密. 遺伝 44 (4) : 2-3.

上野雄規・森 俊. 宮城県にヒメタヌキモ産す. 食虫植物研究会誌 41 : 1-2.

奥田重俊. 天然記念物の草本植物群落. 採集と飼育 52 (3) : 108-111 [湿原、沼および河川の項目あり]

勝俣員伊. 留萌地方のタヌキモ自生地 (追加) とネベンテス栽培. 食虫植物研究会誌 41 : 5-6.

河合良典. 知多半島におけムラサキミミカキグサの新産地. 食虫植物研究会誌 41 : 5.

小宮定志. ムジナモ、コウシンソウ発見百周年を迎えて. ガーデンライフ 29 (1) : 55-57.

新免輝男. 緑の筋肉—シャジクモ類における原形質流動の活動電位による制御. 遺伝 44 (1) : 21-25.

須藤隆一. アシ原による生活雑排水処理. 環境科学会誌 3 : 144-145.

原 松次. 札幌市北東部低地帯の植物. 北海道の自然と生物 2 : 21-28.

藤本義昭. ヨシ属植物について. 神戸の植物 5 (1) : 10-25.

H. Matsumoto, S. Kojima & K. Ishizuka. Characteristics of herbicidal injury by Diphenyl Ether Herbicides Oxyflurofer and bifenox in *Lemna paucicostata* Hegelm.

- Weed Res, Japan. 35: 36-43.
- Nohara, S. & T. Tsuchiya. Effects of water level fluctuation on the growth of *Nelumbo nucifera* Gaertn. in Lake Kasumigaura. Jpn. J. Limnol. 51: 48.
- Sakurai, Y. Decrease in vegetation area, standing biomass and species diversity of aquatic macrophytes in Lake Kasumigaura (Nishiura) in recent years. Jpn. J. Limnol. 51: 45-48.
- Satake, K., K. Sibata & Y. Bando. Mercury Sulphide (HgS) crystals in the cell walls of the aquatic bryophytes, *Jungermania vulcanicola* Steph. and *Scapania undulata* (L.) Dum. Aquat. Bot. 36: 325-341.
- Uchida, N., H. Ohwaki, T. Yasuda & T. Yamaguchi. Effect of increase of the water level on the uptake and distribution pattern of nitrogen in the main stem and tillers of floating rice. Jap. J. Trop. Agr. 34: 27-34
- Yamasaki, S. Population dynamics in Overlapping zones of *Phragmites australis* and *Miscanthus sacchariflorus*. Aquat. Bot. 36: 367-377.
- 池上義信監修、石沢進編集『新潟県植物分布図集 第10集』(植物同好じねんじょ会、1989年12月、563頁、頒価7,000円)
- 本図書については、当会報No35, p13 (1989年3月)にも紹介(笹川通博氏)されているが、今回の第10集で、計1,000種の分布図が完成したことになる。10年間をかけての事業である。分布図と、そのもとになった分布資料が克明に収載されており、将来の増補・改訂も加えて、新潟県産植物の完璧な記録が目指されている。
- このほど、第1集から通して見る機会をもったが、4000余ページにわたる詳細な記録はまさに偉業というほかはない。今までに取り挙げられた水草は約30種にすぎないが、今後、残りの種についても作業が進むことを期待したい。分布図集の詳しい内容については笹川氏の紹介にゆずり、ここでは巻末や余白に収録されている小論文や雑録の中から、水草に関するものをリストアップしておく(凡例: 2: 253 → 第2集253頁)。
- 平 慎三: アサザとガガブタの群生. 6: 276.
 ———: 小苗代池のヒシモドキ. 7: 296.
 笹川通博: 北新保大池小池の植物. 8: 447-454.
 ———: 樹潟の植物. 8: 455-460.
 登坂裕一: 北蒲原郡藤塚浜のミズドクサ群落. 9: 8-9.
 笹川通博: マルバオモダカの生育. 9: 374.
 ———: 朝日池の植物. 9: 429-430.
 ———: コカナダモの生育. 9: 434.
 ———: 田海ヶ池の植物. 9: 438.
 刈屋 寿: 幻のヌマガヤツリ群落. 9: 458.
 石沢 進: 新潟県におけるミズニラの生育状況. 10: 12.
 笹川通博: 岩見堂岩の湿地 一東頸城郡松之山町兎口一. 10: 126.
 ———: 鶯沢の用水池の植物 一中頸城郡清里村一. 10: 304.
 ———: 新潟県におけるオグラノフサモの分布. 10: 398.
 ———: 新潟市松浜のホザキノフサモ群落. 10: 402.
 ———: ヒシモドキの残存 一豊栄市福島潟一. 10: 452.
 刈屋 寿: 幻のヌマガヤツリ群落(続報). 10: 349-350.
 高橋 務: 加茂市: 加茂川下流域のチクゴスズメノヒエ. 10: 523-524.

抄 録 J. Aquat. Plant Manage. (Vol. 27, Jan., 1989)

Comparative Shoot and Root Regeneration from Juvenile and Adult Aerial Leaf Explants of Variable-Leaf Milfoil (M. E. Kane & L. S. Albert)

若齢期(栄養成長期)および成熟期(生殖成長期)の *Myriophyllum heterophyllum* (フサモの仲間)の空中葉由来する外植体からの、シュートと根の再生実験を試験管内で行った。外植体は、サイトカイニン(N6-ベンジルアミノプリン(BA)、イソペンテニルアデニン(2iP)、ゼアチン(Z))とオーキシン(ナフタレン酢酸(NAA)、インドール酢酸(IAA))それぞれを0から20 μモルの濃度で加えたガンボルグB 5培地で、28日間培